

美術館・博物館-1

「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■ 基本情報

ジャンル	その他（博物館）		
対象となる学年	小学校 1、2、3、4、5、6 支援学級 中学校 1、2、3 支援学級 特別支援学校（小 中 高）		
対象となる科目	・国語 ・算数、数学 ・理科 ・社会 ・英語 ・体育 ・音楽 ・道徳 ・図工、美術 ・技術家庭 ・その他（ ）		
実施可能地域	・乙訓 ・山城（宇治、田辺方面） ・山城（木津方面）		
実施回数	1 回	1回の 所要時間	40～45分
実施可能人数	1回につき 40人程度まで（1回1クラス程度）		
実施団体	団体名 京都府京都文化博物館 代表者名 館長 山田 啓二 担当者名 学芸課学芸員 橋本 章		
連絡先所在地等	〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上ル TEL/ 075-222-0888 FAX/ 075-222-0889 Email/a-hashimoto@bunpaku.or.jp		
団体、講師のプロフィール	派遣可能な講師： 学芸課学芸員（橋本 章・西山 剛・佐藤 稜介） 1988年に開館した京都府京都文化博物館（公益法人京都文化財団にて運営）は、美術・工芸、歴史、映像を三本柱にさまざまな視点から京都文化の紹介につとめている。 大人向け講座のほかにも、「文博子ども教室」をはじめ、種々のワークショップ等を開催している。講師となる担当者の専門領域は工芸。また教育普及連携室を担当し、博物館における教育普及活動の推進に努めている。 ※ https://www.bunpaku.or.jp/		
実施可能な時期（期間）	実施日については、学校側の求めに応じて協議して決定します		

■ 実施内容

対象となるプログラム	体験
テーマ (タイトル)	さわってみよう、むかしの道具
趣旨・目標 ねらい	博物館の収蔵品や展示品は、歴史的文化的に貴重なものが多く、普段は気軽に触れることは出来ませんが、そうした資料の中から実際に手に取ってみられるものを、資料を専門に取り組む学芸員が、常日頃勉強している教室に持ち込んで、それらに実際にさわってみることで、子どもたちにより豊かな体験をしていただきます。
全体計画 (案)	<p>< 1 回目 > 先生による学校での事前学習 (導入・学習の動機づけ)</p> <p>< 2 回目 > 学芸員が資料を教室に持ち込んでの授業 (体験・経験)</p> <p>< 3 回目 > 先生による学校でのふりかえり学習 (まとめ・定着)</p>
実施場所	学校
講師等	講師 (2 人) スタッフ (1 ~ 2 人)
備考	<p>・ 必要な備品、設備等 授業に際して映像機器 (プロジェクター) などをご準備ください。</p> <p>・ その他留意点 実際に際しては学校の先生との打合せが必要となります。・実際に持ち込める資料はむかしの道具 (考古資料・民族資料) になります。</p>

※このメニューは、参考に提示しているものです。実際の内容は、実施校の状況に応じて講師と担当教員とで御検討いただきます。